

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	－	－
	○	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響が大きくなってきている状況のなかで、外食を控え、スーパーで買物をする人が更に増すと予想される。
	○	コンビニ（経営者）	・年末に向け、新型コロナウイルス感染のピークに向かおうとしているが、年末年始の自粛要請で峠は越えられるのではないかと。そもそも客単価や購入点数はある程度安定しているので、あとの問題は街に人が戻るかだけである。2～3か月先には若干なりとも来客数は増加するとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・巣籠り需要継続により、デザート、総菜、冷凍食品等の売上改善が見込める。また、2月で新型コロナウイルスの影響が1周する。影響が出始めた初期の日販減少が大きかったため、前年比では大きな改善が見込まれる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・積雪量にも影響されるが、毎年イヤーモデルチェンジもあり、宣伝も増え決算期に向けた活動をしていくため、現状よりは上向きになり新規客も増えると予想している。
	○	旅行代理店（従業員）	・12月下旬～1月上旬の自粛により、新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少したとしても、第4波、第5波等の感染者の増加も想定されることから、V字回復することは想定できない。しかしながら、Go To Travelキャンペーンが6月まで延長されることにより、観光業及び運輸業はもちろん、農業、水産業等の関連する業種の景気もやや良くなるとみている。
	○	通信会社（営業担当）	・ボーナス時期なので景気は良くなる。
	○	観光名所（職員）	・ワクチンの接種が始まり、効果が現れれば活動も活発化するとみている。
	○	住宅販売会社（経営者）	・後継者のいない法人所有不動産の買取り依頼が数社あり、更地分譲予定がある。
	□	商店街（代表者）	・できるだけ外出をしないで自宅で食事をするような形が広まっており、外出をやめたり、自宅で仕事をしたり、自宅にいる時間が多くなっている。したがって、食品スーパー、食材の店舗は前年を上回っているが、飲食店はまだまだしんどい状況が続いている。
	□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でワクチンが打てるようになるまでの間は、高齢者になればなるほど外に出ない。また、子供が休みの期間も年末年始も自宅から出ない気がしてならない。消費マインドといったレベルではなく、健康不安のために買物に出るのを控える傾向にあるようなので厳しい。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスで業種によっては極端な悪影響が出ており、それが経済全体に波及してくることも考えられる。一方、株価が上がっており、その背景に金融緩和がありそうなので、インフレに向かう力が出てくれば、それが上述のデフレ圧力ときつ抗しようである。
	□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・年度末に向けて予約もなく、商品の需要が期待できない。非常に厳しい。
	□	百貨店（売場主任）	・当面は景気が上向き要素が見当たらず、変わらない状況が続くと予想される。
	□	百貨店（営業担当）	・年度の替わり目で歳時やイベントの増える時期であるが、新型コロナウイルス感染対策も定着しており、以前のような規模感は見込めない。また、現在のトレンドからも入店客数の回復は見込んではいない。
	□	スーパー（経営者）	・年末の帰省も期待できず、来客用の需要が見込めない。雪祭りなどの行事も中止となり、現状の自粛ムードから好転しないとみている。
	□	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス感染が拡大しており、身の回りの状況も変わっていない。先がみえないだけに、食品小売業に関してはやや好景気の状態が続くとみている。
□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数もだんだんと増えてきているので、2～3か月後の景気も悪いままで、かなり厳しい状況が続くとみている。	
□	コンビニ（エリア担当）	・コロナ禍が続く見込みで、帰省、行楽客増加の予兆はない。	

<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・自粛期間が延長、強化されることで人の動きは悪くなるとみられ、今後も景気は悪いまま継続していくと予測される。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・ギフト商品は冠婚葬祭が著しく減少し、商品の動きが皆無の状態である。また、法人関係のお歳暮と作業服等の動きも鈍い。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・バーゲンセールニーズで初売りはそこそこ来客があるとみている。しかしその後は、新型コロナウイルスの感染状況を考えると、仕事ニーズでの衣料はなかなか動かないのではないかと悲観している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・現状では消費者の買物マインドが上がってくるとは考えにくく、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてくるまでは先行きが見えない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルス感染の収束が見通せないため、現状が続くとみられる。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・コロナ禍における自粛が更に進む可能性があるため、予想が付かない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	・コロナ禍のなかでの営業で少し良くなっている部分があるものの、必ず反動が出るので、反動減が大きくなると予想している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・いつもは新型車が発売されればすぐに販売量が伸びるが、今回は新型コロナウイルスの影響があって余り伸びない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・11月以降の受注に陰りはあるが、3月までは何とかしのぐことはできるとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（本部）	・例年、初売りが大きく販売台数、収益に絡んでくるが、現下の新型コロナウイルスの状況を鑑みても前年以上の人出は見込めない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・受注いただいている分を納品していくが、受注残があるため、この先2～3か月は金額、数量共に現在と変わらない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・月の売上が比較的小きな店舗なので、売上自体は余り変わらないとみている。新型コロナウイルスの状況次第だが、それとははっきりしないので、同じような状態で推移していく。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（従業員）	・新型コロナウイルス感染者が発生すると、近隣の商業施設の集客に影響が出る。新型コロナウイルス次第である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・今の状況のままであれば悲観的にならざるを得ない。多少なりとも動きが活発になるとみているが、それにしても大きな動きとはいえないだろう。今後は倒産や廃業なども増えていくことが予想される。まだまだ新型コロナウイルスの影響で経済が悪化していく可能性も否定できないなか、良い要素はほとんどない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルスへの警戒が再び強まっているので、良くなるまではいかず、現状維持とみている。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルス感染の状況次第で変わるが、Go To キャンペーンが再開しても、控え目な動きとなるのではないかとみている。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・客の話では、人事異動は現時点で前年の60%程度しかないと聞いている。新型コロナウイルス感染が収束しない限り、ビジネスマンの歓送迎会などの実施もないため、売上は伸び悩む。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・改善に向かう材料に乏しい。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・加入促進キャンペーンの効果が出ており、今後も格安プランのメニュー展開や携帯電話サービスとのコラボ商品などを展開していく。現在好調なサービスだが、年度末に向けても好調を維持していくことが予想され、加入者増加も期待できる。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・良くなる要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器は、暖房用器具の購入並びに設備交換の問合せが増えている。リフォームは、冬の時期は屋外工事が減る見通しである。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・住宅購入検討者が明確に感じるメリットが少ないため、契約数は現状のまま推移するとみている。ただ、新型コロナウイルスの感染拡大が広がれば、来場者数は減少するため、3か月後の成約棟数にも影響が出ることを予想している。
<input checked="" type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染が冬場に掛けて増加傾向にあり、外出や外食を抑える傾向にあることから、消費が落ち込む見込みである。

▲	商店街（代表者）	・1月に入ると閉店する飲食店が増加することが予想される。
▲	一般小売店〔医薬品〕 （経営者）	・今年は新型コロナウイルスに始まった。業態としてはコロナ需要で大きく伸び、売上は前年の130～140%はいつている。その分来年は多少なりともへこむことが予想される。ただ、客の動向をみると相変わらず出てきているので、来客数は変わらないが、販売量、客単価の面で影響が出てくるとみている。
▲	百貨店（買付担当）	・当月は少し持ち直したが、引き続き新型コロナウイルスの感染状況に左右されるとみられ、全く読めない。
▲	百貨店（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数の増加、本格的な寒さの到来とともに来客数が減少するのは否めない。一時的な支援策も一通り出尽くした感じがあり、少なくとも春までは、消費者心理が活発に動くことは考えにくい。今やれることを地道に実施していただだけである。
▲	スーパー（経営者）	・1月はコロナ禍でも株価の推移が堅調と聞くが、実績、裏付けが希薄で、消費への良い影響は余りないものとみている。新型コロナウイルスの変異種含め、感染の拡大傾向が続き、ステイホーム、不要不急の外出自粛要請も強いので、消費活動の停滞、減少は続くものとみられる。倒産件数も増えているようなので、雇用調整、可処分所得の低下等が更に強くなることを懸念している。
▲	スーパー（店長）	・コロナ禍もあり、微妙に客の増減がある。今後もこの状況はまだまだ続きそうである。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、感染者数が減少してくれば、客単価、売上も現在のような好調な推移は見込めなくなる。
▲	スーパー（営業担当）	・現在の来客数の落ち込みは続く。さらに、飲食店や企業の業務縮小や倒産等によって収入が減少することで、食品の節約、来店頻度と購買金額の伸び悩みが起こることが懸念される。景気は厳しくなるとみている。
▲	スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者が増加してGo Toキャンペーンも一時停止となり、経済の停滞が懸念される。大雪の影響も予測され、不安しかない。
▲	コンビニ（経営者）	・特に夕夜間の来客数の減少に歯止めが掛からない。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの終息ははるか先の話である。さらに、季節要因も追加され、売上減少が懸念される。
▲	コンビニ（店長）	・東京の感染拡大が止まらない状況なので、当地に仕事で来る客も減っている。観光も駄目、催事もなしということになってくると、しばらくの間は来客数が落ち込む状況が続くのではないかと予想している。業界によっては倒産に追い込まれる会社が増えてくるということで、当地における見通しはますます暗い。
▲	衣料品専門店（経営者）	・セールがスタートするが、帰省客の購買が見込めない分、売上が減少すると予測される。
▲	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスによる自粛ムードが全国で広がり、当県にも大きな影響を及ぼしているため、景気が悪化し、自店にも反映されると予測している。
▲	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で給与やボーナスがカットされ、客の購買意欲が低下している。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえない。
▲	住関連専門店（経営者）	・来客数の減少が見込まれる。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・今後更に移動需要が減少し、それにより燃料油の販売量も減少するとみられる。
▲	高級レストラン（スタッフ）	・年末でも会食がかなり少なく、この先も見込めない。当社の重要な客層である60～70代がより外出や食事を控えている。
▲	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの変異型が出てきたということなので、今後それが広まったりすると、人々の恐怖感がまたあおられ、経済は回らなくなっていくのではないかと。そうならないように祈っている。
▲	観光型ホテル（スタッフ）	・Go Toキャンペーンの延期に伴い一時的に下振れする。

▲	旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止により、対象期間外でも取消しが発生しており、新規申込みも停滞してしまっている。それにより、観光業を取り巻く様々な業界においては、今以上に深刻な状況に陥ることが想定される。
▲	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症の第3波の状況も更に悪化しているなか、良くなる条件はない。Go To Travelキャンペーンの停止が長引けば更に悪くなる。
▲	通信会社（営業担当）	・本格的な冬の時期となり、新型コロナウイルスの感染者数が増加する傾向にある。ワクチン投与により沈静化するであろうが、向こう1～2年は景気の向上は期待できない。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染の収束がみえない。ますます売上が下がる見通しである。
▲	通信会社（営業担当）	・新しいプランの開始に伴い、店舗を利用する客が減少することが予想される。
▲	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大やGo To Travelキャンペーンの一時停止に伴い、先行きがかなり不透明となっている。
▲	競艇場（職員）	・1月は新規客数が伸びるが、それ以降になると段々と落ち込んでくる。販売促進やイベントを行ってもなかなか人が集まらないのが現状である。
▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルス感染は現時点では拡大しつつある。また、客は慎重になっており、不要な外出はしないという流れになっている。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・Go Toキャンペーンが中断されて、少し戻りつつあった景気が再び冷え込んでいる。来年に入ってもこの傾向が続くことを懸念している。
×	商店街（代表者）	・今月から春先に掛けて、倒産や閉店、解雇が顕著になってくるようなので、消費は伸びない。
×	商店街（代表者）	・自粛の年末年始で景気の回復は望めない。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・12月28日～1月11日までGo To Travel、Eatの両キャンペーンが停止になっている。また、新型コロナウイルスの感染者数が非常に増えていることを考えると、景気は悪くなる一方である。
×	一般小売店〔酒〕（経営者）	・やっと状況が好転し始めた矢先の逆戻りの影響が余りにも大きい。ここまでは何とかやってこれたがこれ以上は耐えられないと嘆く客も多い。この状況が続けばどんどん苦しくなる一方である。
×	スーパー（経営者）	・コロナ不況がすぐそこにあり、刻一刻と近づいている。消費税転嫁対策特別措置法が3月一杯で終わり4月から総額表示になることも、景気を冷え込ませる要因になる。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスは収まってきたが、今年は雪が降るなど天候が余り良くないので、まだまだ悪くなる。
×	コンビニ（経営者）	・冬期間は例年も綱渡りの経営だが、今年は更に新型コロナウイルスの影響で来客数、売上も下がっている。2月は営業日も少なく、1年で最も売上の下がる月である。今年は本当にどうなるかわからない。長年コンビニ経営をしているが先がみえない。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加しているため悪くなる。
×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスは感染拡大に向かっていっているようなので、客商売などは大打撃を受けることが予想される。
×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・コロナ禍の状況が落ち着くまでは我慢するしかないと考えている。飲食、観光関連が持ちこたえられるように地元を始めとした行政に直接的な支援をお願いしたい。Go Toキャンペーン等はその後の話で、それまでに持ちこたえられるかどうかを非常に心配している。
×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・あと3か月はこのままだとみている。欧米のワクチン接種状況をみて、その効果や副作用の影響を鑑みて日本での接種が始まるかもしれないが、だからといって4月から回復基調になるとは思えない。夏までは我慢するしかない。
×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かない限り、消費に関しては非常に厳しい状況が続く。飽くまでも感染状況が落ち着くことが景気向上への前提条件になるとみている。

	×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染が収束すれば少し良くなるかもしれない。しかし、全ての業種にダメージがあるので、社会全体が回るのは難しい。しばらくは景気が悪い状況が続く。
	×	一般レストラン（経営者）	・完全に新型コロナウイルスの影響であるが、レストランに行かなくてもいいという新しいスタイルに変化していってしまうことを恐れている。既にそういったことが発生しているのではないかと不安になっている。なかなか厳しい状況が今後も続くともみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・景気が回復するには新型コロナウイルスの終息しかない。歓楽街である当地域においても22時までの時間短縮となっているので、この解除と新型コロナウイルスが終息しなければかなり悪くなるとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・稼ぎ時の年末が全く駄目な飲食店がほとんどだった。長い期間のマイナスをばん回すチャンスもなくなり、今後はそのしわ寄せが来ることが予想できる。いろいろな業種で同じことが発生している以上、景気は下方に進む。
	×	観光型ホテル（経営者）	・2～3月はオフ期に入り例年利用客は少なく、なおかつGo To Travelキャンペーンが利用できるかどうか様子見しており、予約状況は前年より悪い。新型コロナウイルスの感染状況に大きく左右される。
	×	観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、利用は増えてはこないのではないかとみている。
	×	タクシー運転手	・周囲でも、工場の譲渡や業種転換などによる影響を受ける人が増えてきている。将来が見通せない人が増えてきている。
	×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染防止対策と景気対策を同時に行うのは難しい。また、年末年始の消費需要も減るため、景気は悪くなる。
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス感染の収束はない。収束しないと観光系の仕事は回復できない。
	×	観光名所（職員）	・Go Toキャンペーンは一定の効果が出たが、感染者数が増加するにつれて自粛ムードが漂っている。振り客の減少に加え、特に団体旅行を支えていた年配の方の自粛ムードがひどい。震災後の自粛ムードに似ているようなところもあるがそれ以上である。また、震災と違って復興というような最終的な着地点がみえない状況で、この先どうなっていくのかが全く読めない。
	×	設計事務所（経営者）	・最近、新型コロナウイルスが身近になってきている。この状態が悪化すれば、自粛期間の長期化や業務の時間的な制限などにより、受注業務の増額を伴わない工期延長などが相次ぐ。また、この先に予定している案件を受注した場合には、従業員への業務負担の増加、働き方改革の残業時間等の規制と相反する状態が生じ、人材の確保や品質の確保が難しい状況が発生することが想像できる。
企業 動向 関連 (東北)	◎	—	—
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・業界にとっては繁忙期になるため、年度末の仕事が入り始めている。
	○	金属製品製造業（経営者）	・来年に向け、販売計画がプラス方向に見直されたとみられる動きが出始めている。新型コロナウイルスによる影響については不透明だが、取引先は比較的楽観視しているようである。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・ワクチン接種で新型コロナウイルスの感染が収まれば、経済も徐々に回復していくのではないだろうか。
	○	建設業（従業員）	・コロナ禍における不確定要素はあるものの、補助金活用案件等の年度末に向けた駆け込み受注が一定量発生する可能性を考慮し、景気はやや上向くと推測している。
	○	通信業（営業担当）	・教育現場にてスマートデバイス端末の導入検討が増えている。また、補助金制度を活用する取引先も増えており、受注は増える見込みとなっている。
	○	司法書士	・地元法務局の不動産登記件数が一時前年比10%程度下がっていたが、12月末時点で5%減まで減少割合を戻している。
	○	コピーサービス業（従業員）	・政府の景気対策の予算に期待しつつ、希望も含めて良くなるとみている。助成金絡みの商談が増えているのは事実なので、成約率が上がるようになれば期待できる。
	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しないと人の動きが悪く、経営的にもかなり苦しい。

□	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、販売量の前年割れとなる状況が続くとみている。
□	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により冬季の観光需要には全く期待できない。しかし、県をまたぐ移動の自粛により遠方の知人等に対する贈答品の発送が増えるのではないかと予想している。
□	電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体部品の業績は今後2～3か月の範囲では現状から大きな変化はないと予想され、身の回りの景気としても変わらない見通しである。
□	通信業（営業担当）	・新規設備投資は今後の受注に大きく影響するものであり、コスト面での客との折り合いをつけるのも容易ではなく、継続して厳しい状況にある。
□	金融業（広報担当）	・大手メーカー関連の製造業は一時の減産体制から脱却しており堅調推移が期待できる。一方で特に飲食業者は帰省需要が見込めないまま正月明けの閑散期を迎えることから、資金繰りにはナーバスになる。
□	広告業協会（役員）	・ワクチン接種の開始や、東京オリンピック・パラリンピックがどんな形であれ開催されるという状況になれば、ようやく明るい兆しが見える。とにかく感染者数が減少していくことを願うばかりである。
□	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第3波の終息次第で大きく変わる。現状の延長であれば現状と変わらない。
□	その他非製造業〔飲食物品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスによる今までにない状況なのでどのように動くか分からないが、悪くはなっても良くなるような気はしない。今の状況をみると、今年と同じような状況が続くのではないかとみている。
□	その他非製造業〔飲食物品卸売業〕（経営者）	・まだ寒い時期が続くこともあり、新型コロナウイルス感染症の感染者数が高い水準で推移するとみられる。
□	その他企業〔企画業〕（経営者）	・従来、住宅の新築検討は帰省などで家族が集まる年末年始に多く出るものだが、今年はそのケースが少ないようで、懸念材料とみている。
□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・半導体関連は微増、一般加工は微減若しくは変化なしと、業態により若干の温度差がみられるが、総体的には現況維持である。
▲	農林水産業（従業者）	・農協よりりんごの精算書が届いたが、販売単価は前年より2割程度安くなっていた。後半の出荷分についても値段は余り期待できそうにない。
▲	農林水産業（従業者）	・12月の大雪により、さくらんぼの枝折れやパイプハウスの破損が発生し、収益低下や費用増加が懸念される。
▲	窯業・土石製品製造業（役員）	・好転する材料は見当たらない。新型コロナウイルスの感染拡大も更に広がっており、景気の停滞感が明らかに強まっている。
▲	建設業（企画担当）	・新型コロナウイルス感染症のワクチンや特効薬が広く行き渡らない限り、景気状況が劇的に回復することはないと推察する。国が推進してきた各種のG o T oキャンペーンは景気のコ入れに寄与してきたと考えるが、感染症の第3波が到来し、キャンペーンが一時停止となったことを踏まえると、この先の景気は現状よりやや悪くなるとみている。
▲	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第3波は今現在も拡大しており、年が明けてからも数か月は収まらないと予測する。したがって、景気回復にはまだまだ時間が掛かることが予想される。
▲	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が収束しない限り、先が見通せない状況が続く。
▲	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえないなか、景気が良くなるイメージが湧かないのが現実である。
▲	経営コンサルタント	・年末年始は人が動いてこそその経済活動なので、そこに可能性を見いだせない限り、景気好転の可能性は少ない。
▲	公認会計士	・現状では外出抑制などの影響がまだ続くとみられ、小売、飲食、サービス業は当面厳しい状況が続く。建設関係も秋頃から売上の減少傾向が続いているので、景気はやや悪くなるとみている。

	×	出版・印刷・同関連産業 (経理担当)	・新型コロナウイルス感染の再拡大により、1月以降の印刷キャンセルが発生している。飲食店を相手とする広告業者は広告が集まらず、チラシや出版物の作成断念が続いており、景気は一段と悪くなることが予想される。
雇用 関連	◎	—	—
(東北)	○	職業安定所(職員)	・自動車関連産業の動きが活発になってきたようである。当面求人は出さないと述べていた事業所が求人を出してきたり、人員を削減すると言っていた事業所がその人員削減を先送りする事例が出てきたりしている。そういったこともあり、今後多少は良くなっていくのではないかと予想している。
	□	人材派遣会社(社員)	・大口受注の相談が入っているが、地域性や職種等から難航が予想され、年明けの好景気にはつながらないとみている。
	□	人材派遣会社(社員)	・相変わらず飲食業界や旅行業界、宿泊業界は厳しいが、一方で、スーパーや建設業、IT関連などの企業は前年比アップの推移をしている。業種、業態によって差はあるが、全体的にみるとそれほど悪くない状況ではないかとみている。今後の採用計画を立てる上で、経営者と採用担当者とのやりとりのなかでの話である。
	□	人材派遣会社(社員)	・求人数が継続的に上昇している現在の状況が今後も続くとみている。
	□	人材派遣会社(社員)	・雇用の動きは新型コロナウイルスの状況が好転しないと良くはならないため、現状維持である。
	□	人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルス感染症の第3波により、Go Toキャンペーンの一時停止などサービス業を中心に景気悪化の影響が深刻化しており、今後急激に上向き要素に乏しい。
	□	新聞社[求人広告](担当者)	・新型コロナウイルス感染症の第3波は、非常に大きな波で地方経済に影響を与えている。ワクチン接種の開始など世の中の大きな変化がない限り、状況としては好転しない。外食産業の復活なしに景気は上向かない。
	□	職業安定所(職員)	・コロナ禍の影響の少ない地域であり、大型商業施設や統合高校の建設のための作業員の宿舎として宿泊施設の稼働も順調であるが、一過性のものである。
	□	職業安定所(職員)	・新規求職者が増えず、良くも悪くも人の動きがない。
	□	職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの影響で、雇用保険受給者実人員が増加し続けている。就職件数は前年同月比で連続して下回っているものの、5月の緊急事態宣言解除後は就職活動に動きが見られ、徐々に減少幅が小さくなってきている。
	▲	人材派遣会社(社員)	・年明けの新型コロナウイルス感染状況によるが、感染拡大が抑え込まれる見通しもなく、良化する要因も見当たらない。
	▲	アウトソーシング企業 (社員)	・コロナ禍が収まる見通しが立たない。
	▲	新聞社[求人広告](担当者)	・当地の景気を占うといわれる初売りは、コロナ禍で2日集中を避け、前後に振り分けて予約制を取るなど、専門店そのほか、個々によって対応が変わってきている。前倒しの予約は福袋中心に好調なようだが、2日以降は全くみえず、デパート、専門店共に不安と期待が交錯している状態である。先がみえない点を踏まえると、コロナ禍が収まらない限り難しい状況が続く。
	▲	職業安定所(職員)	・求人数の動きが見通せない。
	▲	学校[専門学校]	・新型コロナウイルス感染症の影響で、景気は鈍化し悪くなっている。
	×	人材派遣会社(社員)	・恐らく東京オリンピックも中止になることから、多くの面で悪化傾向になることが予想される。
	×	新聞社[求人広告](担当者)	・新型コロナウイルスの感染拡大は続く。